

乳幼児ふれあい体験事業 スキ・すき☆スキンシップ

SCENE 1



乳 幼児や懸命に子育てしている母親とふれあい、生命の大切さや尊さを感じ、人間形成に必要な父性・母性を育てることなどを目的とした乳幼児ふれあい体験事業「スキ・すき☆スキンシップ」が、小学6年生を対象に夏休み中の8月2日と16日に行われました。16日は、小野田保健センターで行われ、有帆・本山・赤崎小学校の6年生7人が参加しました。人形を使って抱き方や服の着脱を練習した後、実際に乳幼児をだっこしたり、服を脱がせたりしましたが、泣かれてしまったり、暴れられてしまったりと、育児の大変さを実感したようでした。その大変さとは裏腹に、乳幼児とふれあっているときの児童は、とても穏やかで柔らかな表情をしていました。

SCENE 2

記録更新を目指して 市民体育大会 水泳競技

市 市民体育大会の水泳競技が、8月22日に市民プールで開催され、自由形や平泳ぎなどの6種目に約60人が参加しました。自己ベストを1秒でも縮めようと意気込む人や、25mを泳ぎきることを目標にする幼児の姿が見られ、目標を達成した後の満足気な顔が印象的でした。



SCENE 3

看護の心に触れて 高校生 1日看護体験

8 月23日に市内の高校生4人が市民病院で、看護業務を体験しました。普段見ることのできない病院設備等に驚いたり、看護師の仕事の間近で見えて感心する場面も。今回の体験をとおして、看護への関心を深め、看護職を目指すきっかけにもなったのではないのでしょうか。